



L-FABPテスト POC

腎障害診断・予後予測の迅速キット

15分

保険点数
210点
判断料
34点

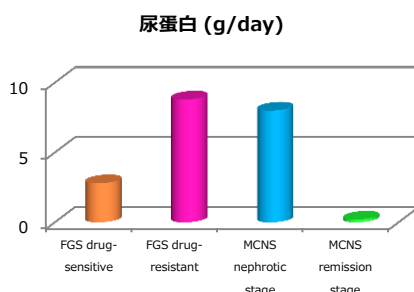
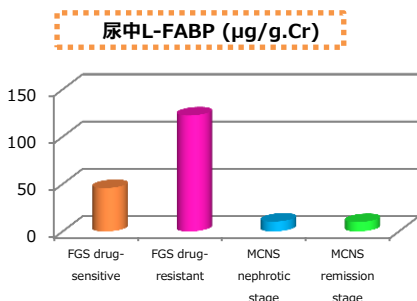
本品は、既に承認を取得した「レナプロ® L-FABPテスト」の臨床試験から算出された参考基準範囲では陰性を呈するよう設計されており、ベッドサイドで簡便に尿中L-FABPの測定が行えるところに特徴があります。尿検体添加後15分時点のテストラインの色調をスコア化することにより腎障害の迅速診断や重症度の予測が可能です。

巣状糸球体硬化症と微小糸球体病変の判別に

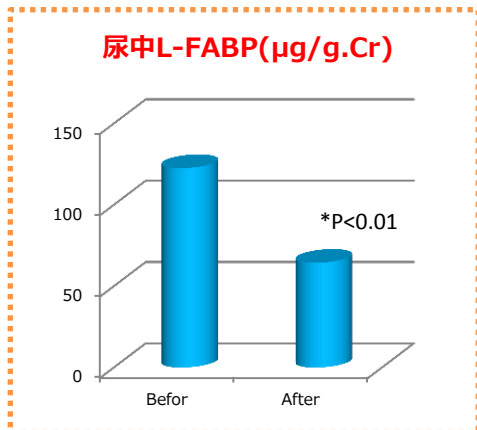
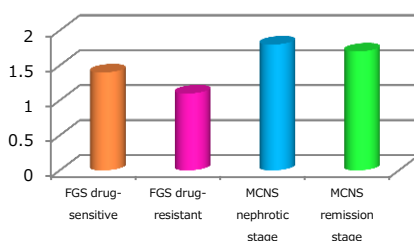
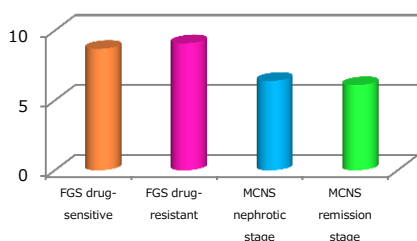
対象：巣状糸球体硬化症(Focal glomerulosclerosis:FGS)患者17名
 治療抵抗性 8名 薬剤感受性*1 9名
 微小糸球体病変患者(Minimal change nephrotic syndrom:MCNS)患者24名
 ネフローゼ期14名 寛解期10名

*Prednisolone
 : 6ヶ月間
 Cyclophosphamide or Mizoribine
 :12ヶ月間

巣状糸球体硬化症患者において、微小糸球体病変患者よりも尿中L-FABPが高値(尿蛋白は同等程度)*2,3
 治療抵抗性FGS患者は薬剤感受性FGS患者よりも尿中L-FABPが高値*2



治療抵抗性FGS患者へのLDSアフェレーシス療法により尿中L-FABP値が低下*2



Selectivity Indexが0.1以下でも、尿中L-FABP高値であればFGSと鑑別される場合があります*4

参考文献：

*2 Urinary liver-type fatty acid-binding protein levels for differential diagnosis of idiopathic focal glomerulosclerosis and minor glomerular abnormalities and effect of low-density lipoprotein apheresis. Nakamura et al.; 2006, Jan.65(1): 1-6; Clinical nephrology

*3 小児の巣状分節性糸球体硬化症の尿中バイオマーカーとしてのL-FABP有用性. 加藤正吾,金子一成ら; 2014年; 第49回 日本小児腎臓病学会学術集会

*4 U-FABPが巣状糸球体硬化症の鑑別に有用であった一例. 前寛,谷澤隆邦ら; 2008年; 第43回 日本小児腎臓病学会学術集会

尿中L-FABPとは

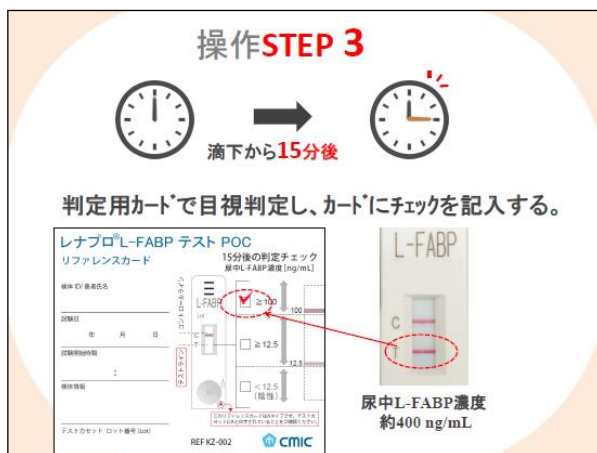
L-FABPは、腎臓において近位尿細管に特異的に発現する分子量約14kDaの低分子可用性タンパク質で、生理的には腎臓の再吸収機能を担う尿細管においてエネルギー及び脂質代謝に重要な働きをしていると考えられています。従来の腎機能マーカーは、糸球体や尿細管の組織障害により尿中に排泄されましたが、L-FABPは組織障害が進行する前の尿細管の虚血(血流不全)や、尿細管への酸化ストレスにより尿中に排泄されます。そのため、尿細管機能障害を伴う腎疾患の早期検出に有用であると考えられています。また、腎障害の程度に応じて尿中L-FABP値が上昇することから腎疾患の予後予測にもご活用いただけます。

保険算定上の主な対象と有用性

<中医協 総会（第194回）議事次第 臨床検査の保険適用について>より引用

【測定内容】	尿中L-FABPの測定（尿細管機能障害を伴う腎疾患の診断の補助）
【主な対象】	eGFR \geq 60の継続的に治療を受けている糖尿病患者、糸球体腎炎などの慢性腎臓病が疑われる患者
【有用性】	腎機能が低下する以前の糖尿病患者に対して、本検査を行うことにより糖尿病性腎症の病期進行リスクを判別し、また治療効果の判定にも使用できる可能性がある。
【留意事項】	<ul style="list-style-type: none"> 原則として3カ月に1回の測定 ・レセプト必須記載項目 「尿細管機能障害の疑い」もしくは「尿細管機能障害を伴う腎疾患診断の補助」と診療報酬明細書の摘要欄へご記入下さい。

使用方法



販売名	レナプロL-FABP テストPOC	有効期間	製造日から12箇月間 (外箱に表示の使用期限内にご使用ください。)
貯蔵方法	1～30℃に保存	包装単位	10回用 1箱

シミツクホールディングス株式会社

L-FABP事業部
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング21階
TEL : 03-6779-8017 FAX : 03-3830-5455
URL : <http://www.fabp.jp/>
E-mail : l-fabp@cmic.co.jp

関連文献、多数有り

詳しくはコチラで検索

fabp web
<http://www.fabp.jp>

検索

